

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成22年度第2回)

議事録

2010年10月21日(木)開催

時 間	15:00～17:00	場 所	地盤工学会会議室
桑 野 委 員 長	○	末 岡 オフ・サ・ハ・	○
浅 田 委 員	○	岩 瀬 委 員	×
工 藤 委 員	○		
杉 本 委 員	×	山 口 委 員	○

○：出席 ×：欠席

配布資料

- ・男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会(平成22年度第1回)議事録 【別紙-1】pp.1-2
- ・第45回研究発表会男女共同参画特別セッション報告 【別紙-2】pp.3-4
- ・特別セッションアンケート結果報告 【別紙-3】pp.5-8
- ・第46回研究発表会予定 【別紙-4】pp.9-11
- ・女子中高生夏の学校参加報告 【別紙-5】p.12
- ・平成21年度JREC-IN学協会アンケート結果 【別紙-6】pp.13-28
- ・企画部からの引き継ぎ活動項目の分担とスケジュール 【別紙-7】p.29
- ・平成23年度予算案 【別紙-8】p.30

【議 題】

議事録担当者の選出 → 工藤委員

1. 前回議事録の確認 【別紙-1】pp.1-2
 - ・承認された。
2. 報告事項
 - ・以下5項目につき工藤委員から活動報告がなされた。
 - 1) 第45回研究発表会男女共同参画特別セッション 【別紙-2】pp.3-4
 - 2) 特別セッションアンケート結果 【別紙-3】pp.5-8
 - 3) 第46回研究発表会予定 【別紙-4】pp.9-11
 - 4) 2010年度女子中高生夏の学校 【別紙-5】p.12
 - 5) 平成21年度JREC-IN学協会アンケート結果 【別紙-6】pp.13-28
3. 企画部からの引き継ぎ活動項目の分担とスケジュール 【別紙-7】p.29
 - ・企画部における男女共同参画関係活動6項目について工藤委員から説明があった。
 - ・各活動項目の主担当(案)は次の通り。
 - 研究発表会特別セッション：浅田、工藤
 - 女子中高生夏の学校：杉本、山口、
 - 男女共同参画学協会連絡会対応：山口
 - 内閣府キャンペーン：岩瀬
 - 土木学会連携：工藤
 - 託児所関連：杉本
4. 新規活動項目の分担とスケジュール 【別紙-7】p.29
 - ・今年度新規活動項目および作業分担は次の通り。
 - HP、ファイル共有システム等の委員会活動用インフラ整備：浅田、岩瀬、山口
 - JGS独自アンケート検討、実施：浅田、工藤、杉本、末岡(シニア関係アドヴァイザーとして)
 - 委員会サポーター、追加委員の募集：浅田

- ・ JGS 独自アンケートについて、回収率を高めるためのアイデアとして CPD の付与という意見があり、実現可能性について末岡オブザーバが会員支部部に問い合わせることとなった。

5 . 女性会員増加策について

- ・ 「地盤工学会女性会員倍増策に関する提案」につき、作成者である工藤委員から説明があった。提案内容は、会長の所信表明、委員会等への女性登用に関する会長名文書発行、委員会活動のコマーシャル、会員・会員企業のコマーシャル、社会制度紹介、表彰制度、ダイバーシティに関わる学会組織拡充の 7 つ。
- ・ 提案項目のうち、女性会員登用依頼文書の発行、委員会活動や会員・会員企業のコマーシャル、社会制度紹介については実現性が高いため、今後委員会として検討することとした。
- ・ 委員会のコマーシャルの手始めとして、会誌 1 月号に、委員会の紹介記事を掲載してもらうことにした。執筆担当は桑野委員長。
- ・ 杉本委員作成の「女性会員倍増計画に対する私案」につき、欠席の杉本委員に代わり、委員長から説明があった。
- ・ 私案のうち、女性会員ネットワークの作成は重要である。まず、フェイストゥフェイスのコミュニケーションがあり、その結果としてメーリングリストなどの常時連絡手段の必要性が生じるという手順が望ましいため、今後、具体策を検討することとした。

6 . 若手、シニア対策の今後の進め方について

- ・ シニア対策については、委員会の方向性を検討するために、まずは座談会を開催し、ベテラン会員の意見を伺う機会を設けることとした。
- ・ シニア座談会のテーマは次回委員会までに末岡オブザーバに考えていただく。
- ・ シニア対策担当は末岡オブザーバ、若手対策担当は山口委員、留学生・外国人対策担当は桑野委員長とする。
- ・ 座談会は、シニア、若手、男女などを題材として 1~2 年かけて行っていく方針となった。

7 . 委員候補者対応について

- ・ 特別セッションアンケートで委員に立候補してくれた会員について、大多数が遠方在住という事情を鑑み、「サポーター」という位置付けで委員会活動に協力してもらってはどうかという意見がでた。
- ・ 定義として、「委員」は委員会に出席可能なメンバー、「サポーター」は委員会議事録を配布し、メール審議や催しに協力してもらうメンバーという位置づけにすることとした。
- ・ 「サポーター」という従来にはない新しい枠組みを作るに際して、会員支部部に承認を取る。→桑野委員長担当。
- ・ 委員、サポーター募集の公示は、HP、メール news、会誌を介して行うこととした。サポーターの条件(交通費等支給、委嘱状の有無など)については別途検討する。
- ・ 公示方法については広報委員会の承認を得る。→浅田委員担当。
- ・ 会誌での公示については、11/10 月の 1 月号に、委員会紹介記事と抱き合わせで掲載することとする。

8 . 平成 23 年度予算案について

【別紙-8】p.30

- ・ 男女共同参画学協会連絡会関連費、女子中高生夏の学校関連費を見直し、再提出することとした。→工藤委員担当。

9 . その他

- ・ 次の 2 点の意見があり、近々の実現に向け調整を行うこととなった。→工藤委員担当。
HP、会誌用に、会長を交え、委員会の集合写真を撮影したい。
その折に、女性会員増加策につき会長と懇談を行いたい。

10 . 次回開催日

- ・ 第 3 回委員会は 12/15(水)もしくは 12/16(木)の 15:00~17:00 の開催とする。別途メールで調整の上、決定する。